

2023 年度 社会福祉法人いなりやま福社会事業計画

□はじめに

コロナウイルス感染が確認されて早3年。感染への対応、経済的困難、孤立等様々な人達が様々な形で困り感を持ち「コロナ・コロナ」とこの言葉を聞かない日がないほど「コロナ」が私たちの合言葉のようになっていました。この頃ようやく落ち着きを取り戻し、マスク着用は個人の判断に委ねられ、感染症法上の位置づけが2類相当から5類に移行します。長く暗いトンネルの先によりやく光が見えてきました。

SDGsの目的「誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現」そしてこのコロナ禍で失いかけていた「人と人との繋がり・地域との繋がり」の大切さ、改めて社会福祉法人いなりやま福社会として目指すべく未来像を考えていきたいと思えます。

今年には社会福祉法人設立20周年を迎えます。平成14年、更埴市第4次長期総合計画（2001年～2010年）に「いなりやま福社会」の法人化実現と施設整備計画援助計画が盛り込まれました。同年7月に法人設立準備運営委員会を発足。当時の旧「いなりやま共同作業所は」更埴市の委託事業、無認可法外事業であるため運営は大変厳しく、常に財政的困難が伴い将来に不安を抱えていました。そこで、家族会や行政そして関係機関と話し合いを重ね、サービスの向上、開かれた施設づくりのため、社会福祉法人を設立し、施設整備をしていくことで一致し法人化に向け本格スタートをきりました。準備会の開催、圏域市町村訪問、県とのヒアリング、そして資金作りでイベント開催、募金活動も何度もおこないました。利用者さんやご家族、関係者一同一つの目的に向かって一生懸命でした。その甲斐あって平成15年7月に法人認可、翌16年4月には「満天の星」が開所しました。振り返ると大変な事業でしたが、人と人との繋がりそして地域との繋がることの大切さを学ばせていただきました。

20年の歴史を刻み、今も昔も変わらないことは「一人ひとりが主人公として、生まれ育った地域の中で豊かな生活をしていく」ということを実践していることです。後を絶たない虐待や権利侵害、私たちの周りで様々な問題が起き社会問題化となっています。福祉サービスを利用する利用者さんやご家族に不信や不安を与えることのないよう援助を必要とするすべての人達の人権が守られる仕組みづくり、そして利用者さんが主人公ということを常に意識し、毎日の支援をおこなっていきたく思います。

□いなりやま福社会が目指していくこと

1 利用者さんが主人公の施設づくり

- ・利用者さんや家族の願いに寄り添う支援を心掛けます。

2 職員集団が学びあい、共に成長する

- ・働く職員が、仕事に誇りとやりがいを感じながら、実践や事業を学び合い希望をもって働き続けられる職場を目指していきます。

3 安定した事業所運営と地域に開かれた法人

- ・透明性の確保・改善・向上、そして安定した運営のために、支援力向上によるサービス内容の充実に努力します。

4 社会保障制度の充実

- ・障がいのある人が自分らしく生きていくための支援が当たり前を受けられる社会にするため、障害者運動を展開していきます。

□各事業の目指す取り組み

① 就労事業所（満天の星・いなりやま共同作業所）

自主製品製造販売の強化と新たな作業を導入しながら工賃アップに繋げていく。

（満天の星）

- ・千曲染め・焼き芋・冷凍焼き芋の販売
- ・元戸倉庁舎の清掃作業 ・農産物の生産、販売 ・資源回収

（いなりやま共同作業所）

- ・煎餅製造販売 ・縫製作業の定着と販路拡大
- ・千曲市日本遺産センター館内清掃及び名月の里、薬師山トイレ清掃

（参考）

※長野県令和3年度就労継続支援B型事業所301か所 一人月額平均工賃 16,153円

※満天の星平均工賃 25,064円

※いなりやま共同作業所平均工賃 25,978円

② 生活介護事業（はなたば・地域活動支援センターいなりやま）

- ・文化芸術活動として、ちぎり絵、ぬり絵、書道等の作品作り展示発表
- ・市民農園での野菜づくり、干し柿、ジャム作り、下請け作業等の生産活動
- ・室内外の余暇活動と利用者さんの希望を聞きながらの外出活動
- ・PT・OT・ST・看護師・支援員によるチーム支援による体力づくりとリハビリテーション

③ グループホーム（こんぺいとう・たんぼぼの家・ふっくら・いなほ）

- ・看護師や栄養士を配置していることによる健康管理や食事面の充実
- ・休日等の余暇活動の充実と短期入所の積極的な受け入れ
- ・世話人さんの確保とスキルアップ

④ 相談支援（いなりやま福祉会相談支援事業所・千曲坂城障がい者（児）基幹相談支援センター）

- ・基幹相談支援センターや千曲・坂城地域自立支援協議会、特定相談支援事業所、市町村と連携し、幅広い相談に対応できるよう総合的・専門的な相談支援の実施

2023年3月末現在、通所事業所利用者さんの人数は、満天の星（定員20名 現26名）、いなりやま共同作業所（定員20名 現26名）、はなたば（定員20名 現26名）、地域活動支援センター（定員10名 登録9名）の計87名の皆様に利用していただいています。定員20名は超過している状況ではありますが、次年度は稲荷山養護学校卒業生他4名の方が入所します。

生活の場グループホームは（こんぺいとう5名・たんぼぼの家6名・ふっくら6名・いなほ4名）と21名の方が入居していますが入居希望者は当会内外に大勢いる状況が続いています。

事業所毎の平均年齢をみますと、満天の星（50歳）いなりやま共同作業所（44歳）はなたば（49歳）グループホームこんぺいとう（50歳）たんぼぼの家（61歳）ふっくら（53歳）いなほ（51歳）、グループホーム入居者の年齢層は50代8名、60代4名、70歳以上2名が利用し、高齢化や体力機能低下問題が顕著になってきました。通所施設も介護力の低下など深刻な家庭もあります。今後障害福祉制度のみならず介護保険制度も視野に入れながら、施設整備も含め、誰一人取り残さない社会の実現、誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指し、2023年も利用者さん笑顔を大切にしたい取り組みをしていきたいと思っております。

2023年度 社会福祉法人いなりやま福社会事業計画

- 社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を行い、サービス向上に一段と努力する。
- 障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障がい者総合支援法）に基づき健全な経営に努めていく。
- 地域に密着した法人として、誰もが安心して暮らせるよう地域福祉推進に一層努めていく。

1 理事会・評議員会の開催

6月	理事会	2022年度事業報告及び決算報告・監査報告	
6月	評議員会	2022年度事業報告及び決算報告・監査報告	役員改選にむけて
6月	理事会	理事互選による理事長選出	
10月	理事会	2023年度上半期事業報告・補正予算・中間決算報告	
3月	理事会	2023年度補正予算 2024年度事業計画・予算	

2 事業運営

□就労継続支援B型事業「満天の星」の運営		※2023年3月末現在	
	(定員 20名)	現 26名	
□就労継続支援B型事業「いなりやま共同作業所」の運営	(定員 20名)	現 26名	
□生活介護事業「はなたば」の運営	(定員 20名)	現 26名	
□地域活動支援センターいなりやまの受託運営	(定員 10名)	現 9名登録	
□共同生活援助 こんぺいとうの運営	(定員 5名)	現 5名	
□共同生活援助 たんぽぽの家の運営	(定員 6名)	現 5名	
□共同生活援助 ふっくらの運営	(定員 6名)	現 6名	
□共同生活援助 いなほの運営	(定員 4名)	現 4名	
□短期入所 こんぺいとう	(定員 1名)		
□短期入所 ふっくら	(定員 2名)		
□いなりやま福社会相談支援事業所の運営			
□タイムケア事業			

3 いなりやま福社会を支援する会との連携強化

- 資源回収各種イベント事業の共同実施 事務局体制強化。

4 サービス提供機関及び市町村・県との連携の強化

- 千曲市サービス事業所、千曲・坂城地域自立支援協議会、きょうされん、福祉団体他

5 職員の資質・専門性の向上

- 学習・研修会等へ計画的に参加、福祉に携わる職員として知識・援助技術の向上を図り、また得た知識、技術を職員間で共有できるような体制づくり。

6 開かれた事業所運営を目指す

- 実習生・見学者・ボランティア等の受け入れ。

7 感染症予防と非常災害

- 各事業所の日常的な感染予防と防災訓練の実施。BCP（事業継続計画）策定

8 建物・設備等の維持管理

― 助成団体等へ申請し計画的に進めていく。

9 その他 重要事項

※社会福祉法人設立20周年記念行事にむけての具体化

※施設整備等新たな事業の検討

※いなりやま事務局体制と事業所運営の強化

※ホームページ、機関誌等を有効利用し、いなりやま福祉会の広報活動・渉外活動を強化していく。

※SDGsへの積極的な取り組み

※権利擁護・虐待防止・身体拘束・苦情解決等の案件への速やかな対応



2023 年度就労継続支援 B 型「満天の星」事業計画

1 目的

事業所に雇用されることが困難な人を対象に能力に応じた生産活動、その他の活動の機会の提供、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練の提供を行う。

2 運営方針及び支援目標

- ・利用者さんが自立した日常生活又は、社会生活を営むことが出来るよう工賃向上を目指す。
- ・意志及び人格を尊重し常に利用者さんの立場に立ち、個別支援計画に基づいたサービス提供に努める。
- ・生まれ育った地域で生き生きと働くために地域との結びつきを大切にする。
- ・社会の一員として自信と責任を持って働くことができる支援を目指していく。
- ・利用者さんを支える関係機関と連携を図り、社会生活及び地域生活での自立を促していく。
- ・感染対策、自然災害に対する備えを強化し安心できる環境を提供する。

3 事業方針

- ・企業との信頼関係強化のため、ニーズに合わせた柔軟な対応を心掛ける
- ・社会情勢に流されないため分散した収入源の確保
- ・生産性を意識し、ストレングスを活かした人員配置
- ・安定した高工賃を目指すため収益性の高い新規作業の導入
- ・地域に根ざした販売活動、EC サイトを活用した全国的な販売の拡大
- ・家族会、ボランティアと連携し生産能力の向上を図る

4 事業内容

請負作業：お土産用箱折り・消火器部品梱包用の箱製作・工業製品の検品、組み立て、梱包・プラスチック製品の検品、組み立て、印刷業務、地元農家での生産物収穫作業・外部清掃業務(県庁、戸倉庁舎)・サービスエリアの植栽活動、除草作業

販売作業：夏季、冬季販売事業、モロコシ販売、野菜販売

自主製品：千曲染め、縫製製品の製造、販売・焼き芋、冷凍焼き芋製造、販売・喫茶営業
新商品となる新たな冷凍商品の製造、販売、EC サイトを活用した販売展開
自社農園を管理し農産物の生産、販売(ピーマン、白茄子、枝豆、りんご)

資源回収：地域企業、団体、個人宅への資源回収(SDGs 活動)

地域生活・社会参加活動

- ・利用者さんのニーズに合った活動を提供する
- ・社会参加の機会を通じ多くの人とふれあい、生き生きと生活出来るよう支援をする
- ・健康を維持し安定した生活ができるための支援を行う

行事関係：休日のイベント参加・地域行事への出店・休日の開所日

仲間の会を中心とした活動・お花見・外出・テイクアウト・書初め・初詣

健康、衛生管理・感染症対策・環境整備・防災対策：

体重測定・血圧測定・病院受診時の付添・健康診査・健康相談・インフルエンザ予防接種・新型コロナワクチン接種状況の把握・基本的な感染対策、予防の徹底・館内消毒・年 2 回防災訓練の実施
消防設備点検

2023年度 就労継続支援B型「いなりやま共同作業所」事業計画

1 目的

事業所に雇用されることが困難な人を対象に能力に応じた生産活動、その他の活動の機会の提供、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練の提供を行う。

2 運営方針及び支援目標

- ・利用者さんが自立した日常生活又は社会生活を営むことが出来るよう工賃向上を目指す。
- ・利用者さんの意志及び人格を尊重し個性やストレングスを活かした支援を提供する。
- ・常に利用者さんの立場に立ち、個別支援計画に基づいたサービス提供に努める。
- ・生まれ育った地域で生き活きと働くために地域との結びつきを大切にする。
- ・社会の一員として自信と責任を持って働くことができる支援を目指していく。
- ・利用者さんを支える関係機関と連携を図り、社会生活及び地域生活での自立を促していく。
- ・感染対策、自然災害に対する備えを強化し安心できる環境を提供する。

3 事業方針

- ① エンパワメント（自分力・仲間力・組織力、地域力）を高め、発揮できる環境を整える。
- ② スtrenグスを活かした生産活動を行う。
- ③ 家族会やボランティアと連携し作業の向上を目指すと共に、地域との結びつきを大切にする。

4 事業内容

下請け作業	箱折り、溶接用火口部品の包装、電極包装、ポスティング、クロネコDM便、ブドウネット洗浄、ウエス、食品の計量、干し梅の検品
清掃作業	県庁清掃、千曲市役所立体駐車場の除草作業、屋代高等学校トイレ清掃、千曲市日本遺産センター館内清掃と名月の里トイレ清掃、薬師山トイレ清掃
縫製作業	保育園入園グッズ製作販売、季節にあわせた縫製品製作販売、SNSを活用した広報活動やネット販売等での販路拡大、委託販売、品質向上
煎餅作業	さくさくせんべい製造販売、プリントせんべい製造販売、季節にあわせたせんべい製造販売、パッケージ等の工夫、委託販売、販売活動、品質向上
資源回収	(SDGsの取り組み) 段ボール、新聞、雑誌、古紙、アルミ缶、牛乳パック、古タオルや綿の布の回収
販売事業	夏季冬季のチラシ配布、商品仕分け
就職定着支援	一般企業へ就職後働き始めてから生じた課題の把握、就職後のサポート
健康管理	体重測定、血圧測定、健康診査、健康相談、インフルエンザ予防接種他
感染症対策	手洗い・うがい・手指消毒等の清潔保持、検温、施設内の換気、消毒
環境整備	働きやすく快適で清潔な環境づくり、花壇の手入れ他
地域生活	スポーツ教室、パソコン教室、書初め、絵手紙、外出等仲間の会を中心とした活動
防災対策	火災、地震、水害等の災害に備えた避難訓練の実施、施設内の防災設備の点検

2023年度 生活介護事業「はなたば」事業計画

1 目的

利用者さんが自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう支援し、加えて創作的活動または生産的活動の機会を提供することにより、やりがいや楽しみを感じながら、仲間づくりと社会参加の道を開くことを目的とする。

2 運営方針及び支援目標

- (1) 個別支援計画に基づき、利用者さん個々のニーズに合った質の高いサービスの提供。
- (2) 利用者さんの意思と人格を尊重し、誠意あるサービスの提供。
- (3) 地域との結びつきを大切にする。
- (4) 生活支援（余暇活動）及び健康管理に努める。
- (5) 感染症対策を強化し、安全で衛生的なサービスの提供。
- (6) 自然災害に対する備えを強化し、利用者さんの安全確保に努める。

3 事業内容

- (1) 創作活動 季節の装飾・行事の装飾・大型壁画作り ちぎり絵 塗り絵 書道
地域のギャラリーやさんきゅーあーと展への出展他
- (2) 作業活動 下請け作業 清掃作業 年賀状・名刺等印刷作業 販売事業のチラシ配り・商品の配達 ポチ袋作り 干し柿作り ジャム作り 市民農園での野菜作り 紙漉きはがき・しおり作り他 新製品の創作、販売
- (3) 機能訓練 散歩 ストレッチ ランニングマシン・エアロバイクを使用した筋力トレーニング他 重度化・高齢化に備え、個々の利用者さんに合わせた体づくり・筋力低下防止・誤嚥防止等、専門職（PT・OT・ST）によるリハビリテーション PT・OT・ST・看護師・生活支援員によるチーム支援他
- (4) 余暇活動 DVD鑑賞 カラオケ ボーリング等室内レクリエーション 楽器を使用した音楽活動 収穫祭（はなたばれすとらん 焼き芋大会等） 誕生日会 花火大会クリスマス会 忘年会 新年会等季節の行事他
- (5) 外出活動 お花見・紅葉見学・初詣等季節の外出 買い物・外食・ドライブ等利用者さんの希望する個別の外出他
- (6) SDGs 活動 牛乳パックを再利用した紙漉き 地域のゴミ拾い他
- (7) 入浴支援 更衣介助 洗身・洗髪介助等、職員2名体制による個々の利用者さんに合わせた安全な入浴支援
- (8) 健康管理 口腔ケア 服薬管理 バイタルチェック ボディチェック 体重測定 病院受診時付添他
- (9) 生活一般 個々の利用者さんに合わせた食事介助、排泄介助
- (10) 環境美化 花々を育てる 草取り活動他
- (11) 感染症対策 手洗い・うがい・手指消毒等の清潔保持介助 検温 施設内の消毒 換気
- (12) 防災対策 火災、地震、水害等の災害に備えた避難・防災訓練の実施 施設内の防災設備の点検 備蓄品の管理他

2023年度 共同生活援助事業（グループホーム）

「こんぺいとう」「たんぼぼの家」「ふっくら」「いなほ」事業計画（案）

1 目的

地域の中にあるグループホームで生活する人に対し、日常生活における支援等を行うことにより、自立生活を助長することを目的とする。

2 方針

利用者が地域において共同して自立した日常生活又は社会生活ができるように、日常生活上の援助を社会資源と連携し適切且つ効果的なサービスの提供を行う。

3 内容

- (1) 食事提供、入浴支援、相談、通院支援、健康管理他、日常生活に必要な支援
- (2) 余暇活動、外食、外出活動を各ホームで計画実施
- (3) 地域行事への参加
- (4) ホームおたより紙面の充実
- (5) 感染症対策（検温・手洗い・うがい・手指消毒・換気・消毒等）
- (6) 防災訓練（年2回）の実施

※重点課題

- ・余暇活動の充実

2023年度 短期入所「こんぺいとう」「ふっくら」事業計画

1 目的及び方針

障がい児（者）が居宅においてその介護を行う者の疾病その他の理由により、短期間の入所を必要とする障がい児（者）等に対し、日常生活上の支援を提供する。

2 内容

- (1) 定期的利用の実施
- (2) 体験利用の受け入れ
- (3) 緊急時対応の受け入れ

※重点課題

- ・ショートステイの受け入れ再開、稼働率アップを目指す。
- ・コロナウイルス感染レベルにより柔軟な対応を心掛けていく。

2023年度 いなりやま福祉相談支援事業所事業計画

- 1 目的 障害者等からの相談に応じ、必要な情報の提供等の便宜を供与することや、権利擁護のために必要な援助を行うことにより、障害者等が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるようにすることを目的とする。
- 2 方針
 - (1) 障がいの種別を問わず、障がい者（児）自らが望む場所で社会の一員として日常生活、社会生活を営むことができるよう、課題等を把握したうえで適切な福祉サービス利用の支援を行なう。
 - (2) 利用者の意思及び人格を尊重し、合理的配慮を踏まえ、利用者や家族に寄り添い支援する。
 - (3) ニーズに合った社会資源を活用し、必要に応じて社会資源の開発を目指しながらより包括的な相談支援を実施する。
- 3 事業内容
 - (1) 指定特定相談支援事業
 - ① 計画相談支援
 - ・サービス利用支援：障害福祉サービス利用者に対して、サービス等利用計画の作成を行い、サービス提供事業所等との連携、連絡調整を行う。
 - ・継続サービス利用支援：定期的にサービス等の利用状況の検証を行い、必要に応じて計画の見直し、調整を行う。（モニタリング）
 - ② 基本相談支援
 - ・障がい者児及び、その家族又は介護者等から社会生活を営む上での相談に応じる。
 - ・必要に応じて関係機関や事業所等との連絡調整を行う。
 - (2) 指定障害児相談支援事業
 - ① 障害児相談支援
 - ・障害児支援利用援助：障害児通所支援利用者に対して、障害児支援利用計画の作成を行い、サービス提供事業所との連携、連絡調整を行う。
 - ・継続障害児支援利用援助：定期的にサービス等の利用状況の検証を行い、必要に応じて計画の見直し、調整を行う。（モニタリング）
- 4 地域の体制作り
 - ・基幹相談支援センターや千曲・坂城地域自立支援協議会、特定相談支援事業所、医療機関、教育機関に加えインフォーマルな資源とも連携を強化し、地域の様々なニーズに対応できるサービス提供体制の確保や、社会資源の開発を行う。
- 5 相談支援専門員のスキルアップ
 - ・多様なケースに対応するため、研修や勉強会、外部の支援会議などに積極的に参加し、相談支援のスキルアップや、提案力のアップを目指す。

※障がいサービス利用の流れ

相談 → 申請 → 聞き取り → サービス等利用計画（案）の作成 → 審査判定 → 支給決定 → サービス等利用計画の作成 → 利用契約 → サービス利用開始 → モニタリング → 更新申請

2023年度 地域活動支援センターいなりやま事業計画

1 目的

障がいのある人や地域活動支援センターを必要とされる人に対して、地域の実情に応じ、個々のニーズに合わせ、働く機会ならびに創作活動や社会参加を保証することを目的とする。

2 運営方針及び支援目標

通所が困難な人への支援について、地域活動支援センター連絡会や関係機関等と連携し、家庭訪問、電話連絡等個別の支援をおこない、参加しやすい環境を整えていく。

3 事業内容

生産活動 創作活動 社会参加活動等、生活介護事業所「はなたば」と連携。また、地域活動支援センター独自の活動として利用者さんの希望を取り入れ、写真撮影会、パソコン教室、DVD鑑賞会などをおりませた活動をおこない魅力ある地域活動支援センターを目指していく。

2023年度 心身障害児（者）タイムケア事業計画

- ① 対象者 在宅の障害児者（千曲市・長野市）で申請により登録された者
- ② 利用方法 登録利用者は登録介護者と利用日時等を協議し承諾を得てからサービス利用

1 目的及び方針

心身障害児（者）が家庭において介護を受けることができず、一時的に介護を必要とする場合に、その心身障害児者及び家族の地域生活を支援する。

2 事業内容

一時的な介護サービスの提供

2023年度 給食事業計画

- ① おいしい食事を作ることはもちろん、安心して食事をしていただけるように衛生管理を徹底していく。
- ② 旬の食材の利用や盛り付け、食材の加工方法などを工夫していく。
- ③ 利用者の皆さんの意見を取り入れながら、心身の特徴に配慮した献立を考えていく。
- ④ 給食担当者会議の開催、給食嗜好の実施

2023年度 千曲・坂城障がい者（児）基幹相談支援センター事業計画

構成メンバー 7名（いなりやま福祉会2名 廣望会4名 まごころ1名出向）

年間目標 出向く支援を心がけ、地域に埋もれている方の掘り起こしをしながら、同時に相談支援に携わる関係者と連携強化することで、必要な方へのサービス利用を後回しにしない支援体制を構築する。

活動計画

- 1 総合的・専門的な相談支援の実施、サービス事業所との連携。
- 2 相談支援体制の強化、相談支援専門員のスキルアップ。
- 3 地域移行・地域定着促進への取り組み、地域生活を支える体制整備。
- 4 権利擁護・差別解消・虐待防止、成年後見制度の利用促進。
- 5 当事者会発足に向けて、当事者同士の交流の機会を設ける。
- 6 千曲・坂城地域自立支援協議会体制づくりと運営。